

福井県学力調査（SASA）

福井県では、昭和26年から県内の子どもたちの学習状況を把握・分析することにより、学習支援する上での課題を明らかにし、学習状況の改善に役立てることを目的に県独自の学力調査を行っています。今年が71回目の実施となりました。対象は、県内のすべての小学5年生と中学2年生で、内容は、国語、算数（数学）、社会、理科、英語（中学のみ）の各教科で、「基礎力問題」と「活用力問題」があります。最近では、全国多くの都道府県で独自の学力調査を行っていますが、全国学力・学習状況調査が行われるよりも前から実施しており、これだけ歴史がある県独自の学力調査はとてもめずらしいようです。

調査実施後、翌日には、先生や子どもたちが問題のポイントを確認できる動画が配信されます。さらに、採点結果や良かった点・課題などの内容分析だけでなく、課題となる内容を具体的に授業でどのように扱うかといった授業改善案が、後日、学校にオンデマンド配信などで提供され、いつでも確認することができます。

先生方は、この調査結果などを個人での授業づくりの参考にするのはもちろん、同じ学年の先生で行う学年会や同じ教科の先生で行う教科会での資料としても活用します。同じ学年や同じ教科の先生方といっしょに、子どもたちがつまずきやすい内容を確認し、今後の授業改善に役立てています。

福井県の先生は「同僚性」が高いと言われます。授業づくりも、チームで行っています。ベテランの先生方の経験と若い先生方のアイディアを組み合わせ、目の前の子どもたちに合った授業を考えています。